令和7年1月24日開催

教育委員会会議録

福知山市教育委員会

- 1 開会の日時 令和7年1月24日(金)
午後1時30分

- 2 閉会の日時 令和7年1月24日(金)
午後2時05分

- 3 招集の場所 市民交流プラザふくちやま 3階 視聴覚室

- 4 出席委員の氏名 廣 田 康 男
塩 見 佳 扶 子
加 藤 由 美
織 田 信 夫

- 5 福知山市教育委員会会議規則第4条により列席したもの
教育部長 垣 谷 敏 数
教育委員会事務局理事 伊 豆 英 一
次長兼教育総務課長 濱 田 亜 希 子
次長兼学校教育課長 間 島 哲 哉
学校教育課担当課長兼教育総務課 八 板 嘉 展
学校教育課総括指導主事 中 川 清 人
学校給食センター所長 谷 垣 薫
生涯学習課長兼中央公民館長 岸 見 貴 志
中央公民館管理担当次長 荻 野 幹 雄
図書館長 山 路 智 子

- 6 福知山市教育委員会会議規則第15条による会議録作成者
次長兼教育総務課長 濱 田 亜 希 子

7 議事及び議題

別添のとおり

8 質問討議の概要

別紙会議録のとおり

9 決議事項

議第24号 原案どおり可決、承認

議第25号 原案どおり可決、承認

福知山市教育委員会会議規則第15条により署名する者

福知山市教育委員会 教育長

福知山市教育委員会 委員

福知山市教育委員会 委員

福知山市教育委員会 委員

教育委員会会議録調製者 教育部長

教育委員会会議録

1 開会

廣田教育長が開会を宣告。

廣田教育長 次に、現在のところはありませんが、傍聴人から傍聴の申請がありましたら許可をしてもよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 許可をさせていただきます。

2 前回会議録の承認

廣田教育長 前回の会議録については、異議ありませんでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 それでは、異議がなければ承認をお願いします。
あとで会議録に署名をお願いしたいと思います。

3 教育長報告の要旨

廣田教育長から以下の報告がありました。

(1) 市町村教育委員会研究協議会報告

それでは教育長報告を行います。1月16日に、後期の市町村教育委員会研究協議会が、オンラインで開催され参加しましたので報告します。

今回は、文部科学省からの行政説明はなく、2つの研究分科会に90分間ずつ参加する形式でした。

私は、まず、「不登校対策・いじめ対策について」のテーマに参加しました。4人のグループでそれぞれの市で取り組んでいる内容を報告し、意見交流しました。各市とも不登校対応についての課題意識は強く持っておられ、苦労されているところは同じでした。出現率が減少している市では、魅力ある学校づくりに重点を置き、プロジェクトとして市内全校が構想図を作成し、それに基づいて取り組むということでした。居場所作り、絆づくりをキーワードにしているとのことでした。また、別の市では、小中連携を密接に行うことで、効果があったという報告もありました。本市では、アクションプランを作成して取り組んでいますが、その内容にも、興味を示しておられました。

次に「学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行について」のテーマに参加しました。こちらも4人グループでしたが、非常に進んでいるところ、まだこれからというところと様々でした。

自転車での移動が40分以内で可能という市以外は、移動手段についての悩みは共通でしたが、保護者による送迎が原則と考えておられるようでした。平日の移行をすでに想定されて進めておられるところもあり、そこでは平日は新たな種目を実施する方向で検討しているとのことでした。

また、地域移行を進めることにより、定住化促進にもつなげていくという狙いもあるとのことでした。

指導者の研修についても話題になり、守秘義務等のコンプライアンスについての研修

をどこがどのようにしていくか考えていく必要があるとのことでした。

今回の協議会のそれぞれのテーマで参考になることも多々あったので、生かしていきたいと考えています。

(2) 高校入試日程

2月10日(月)	私立高校入試		
2月14日(金)	私立高校合格発表		
	(福知山成美高・京都共栄学園高・福知山淑徳高)		
2月17日(月)	公立高校前期選抜検査	合格発表	2月25日(火)
3月7日(金)	公立高校中期選抜検査	合格発表	3月18日(火)
3月25日(火)	公立高校後期選抜検査	合格発表	3月27日(木)

次に、12月の定例会では、公立高校の新しい入学者選抜制度案が公表されたことをお知らせしましたが、いよいよ今年度の高校入試が迫ってきました。私立高校の入試は、2月10日(月)で例年通りです。市内の私立高校合格発表については、全て2月14日(金)に行われます。

公立高校前期選抜検査は2月17日(月)、合格発表は2月25日(火)で、公立高校中期選抜検査は3月7日(金)、合格発表は3月18日(火)となっています。公立高校後期選抜検査は3月25日(火)、合格発表は3月27日(木)となっています。

それぞれが進路実現へ向けて、精一杯頑張ってくれることを期待しています。

(3) 教育情報

- ア 教師を取り巻く環境整備に関する合意(12/24)
教員給与特別措置法(給特法)の改正・中学校35人学級への定数改善等
- イ 中央教育審議会への諮問(12/25)
 - ①「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」
 - ②「多様な専門性を有する質の高い教職員集団形成を加速するための方策について」
- ウ 初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドラインの改訂
(12/26)

教育情報として国の動向に関して年末に3点大きな動きがありましたので報告します。まず、教師を取り巻く環境整備に関する合意が、財務大臣と文部科学大臣の間で、12月24日にされました。

これまで教育調整額の引き上げを中心に処遇改善等、様々に議論が行われてきました。文部科学省と財務省との対立もニュースになっていましたが、この度合意が交わされました。主な合意内容は、教育調整額を令和12年度までに10%引き上げること、ただし、令和7年度は5%として給特法改正案を通常国会に提出すること、小学校教科担任制の4年生への拡大、新規採用教員への支援、中学校生徒指導担当の配置拡充、教育委員会での業務量管理計画の策定等で、業務量管理計画については、5年間で時間外在校等時間を3割縮減し、月30時間程度に縮減することを目標とすることになっています。

次に、12月25日の中央教育審議会への諮問についてです。今回、「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」と「多様な専門性を有する質の高い教職員集団形成を加速するための方策について」の2点について諮問が行われました。2つを同時に諮問する例はこれまでなく、それぞれを連動させる狙いがあるようです。

まず、「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」は、次期学習指導要領の改訂となります。今後、約2年間の審議を経て令和8年度に答申がまとめられ

る予定です。そして、令和12年度以降、順次新しい指導要領に基づいて教育を行うこととなります。

主な審議内容は4点ですが、資料で御確認ください。諮問のポイントとしては3点挙げられ、1点目が情報活用能力の抜本的向上や情報モラル教育の強化です。2点目が学校裁量の拡大で、授業時間の柔軟性等が認められ、例えば、授業時間を5分短縮して生じた余白の時間の活用が考えられます。3点目が年間総授業時間数は現状以上に増やさないことです。

次に、「多様な専門性を有する質の高い教職員集団形成を加速するための方策について」ですが、主な検討内容3点は資料で御確認ください。諮問のポイント2点挙げられ、1点目が多くの学生が教員免許取得を目指す免許制度の在り方、2点目が社会人が大学院で教員免許を取得できる仕組みの構築となっています。

教育情報の3点目は、12月26日に公表された、「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドラインの改訂」です。

令和5年7月に暫定的なガイドラインが作成されましたが、今回「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関する検討会議」で7回の議論を経て、改訂されました。このガイドラインには、児童生徒、教職員が生成AIを使う際の考え方や留意点が具体的に示されているとのこと。教育情報については以上です。

(4) 第28回「明るい家庭づくり（家庭の日）絵画展」結果 「佳作」

久下愛叶さん 「おめでとう！10さい」（昭和小4年）

中嶋千華さん 「あったか家族」（雀部小4年）

次に、第28回「明るい家庭づくり（家庭の日）絵画展」の結果について報告します。
「佳作」に資料にありますように2名入賞しています。

私からの報告は以上です。何か御質問はございませんでしょうか。

全委員 特になし。

廣田教育長 それでは、次に議題に入ります。

4 議事

(1) 議第24号（令和7年度学校教育の重点について）

廣田教育長 議第24号「令和7年度学校教育の重点について」説明をお願いします。

中川学校教育課総括指導主事 ～資料に基づき説明～

資料として、令和7年度学校教育の重点のリーフレットをお配りしておりますので、御覧ください。

前回協議会の中でいただいた御意見を反映させております。

令和6年度と比較をして、改めた点が赤字で下線が引いております。

さらに、御意見をいただいた部分について、二重線を引いて太字で示しております。

内容について御説明をさせていただきます。まず表紙についてです。

教育のまち福知山の概要について説明を記入しておりますけれども、前回御説明させていたときには明朝体で、もう少し見やすいよう検討をという御指摘をいただきました。ゴシック等の書体を検討しましたがけれども、できるだけ読みやすいことを前提に、UDデジタル教科書体を今回採用させていただいておりますので、また御意見いただけたらと思いま

す。

資料を開いていただきまして、左側に本市の構想図を載せております。中央の部分の「デジタルとアナログを融合させた学び」というところで、「ICT機器の有効的な活用」という文言にしておりましたが、一番下のところに、「ICTの効果的な活用」と書いております。整合性を持たせるため、「効果的な活用」に修正しております。

それから、同じ箇所の3点目、前回までは「個別最適な学び」で留まっておりましたが、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に育ていくということではないのかという御指摘がありました。御指摘の通りだと思いますので、「個別最適な学びと協働的な学び」とさせていただきます。「基礎・基本の習得」のところは、前回御提示させていただいたところでございます。

右側の事業スタンダードにつきましては、前回御提案させていただいた内容から変更しておりません。

さらに資料を大きく開いていただきましたら、重点目標を記載しております。

まず、教育の基本理念につきましては、前回も確認いただいて修正しておりません。

続いて重点目標の1です。②の「「なりたい自分」の追及から学ぶ意義を深く考える取組」の中で、「なりたい自分になる」を合言葉にして学ぶ目的を明確にするのは誰なのかという御指摘がありました。子どもたちに、学ぶ目的意義をしっかりと指導していくという意味合いを強く出すために、「明確にし」を「深く学ばせ」と修正しております。

③のところでは、従来「学力の充実向上」という文言にしておりましたが、重点目標そのものが、「確かな学力を育む」ですので、同じことをまた繰り返しているようにも捉えられます。「一人ひとりの可能性を伸ばす豊かな学びの実現」という表題にさせていただきました。内容についても、全体構想との繋がりをより意識して、整理させていただきました。「主体的・対話的で深い学び」に続く「学習規律の確立」には、前回括弧書きがありませんでしたが、括弧書きにして、これを柱に生徒指導の機能、人権教育、特別支援教育、認知・非認知を学力の基盤として、デジアナ教育の推進、基礎・基本の習得、学習習慣を重視した学びとともに、授業づくりについては、従来から行っております「福知山市授業スタンダード」をしっかりと推進していくというように、少し間に言葉を補い、整理をさせていただきました。

続いて重点目標2につきましては、②の特別支援教育の推進となっていたところで、何をもちょう特別支援教育を推進していくのかというお話をいただきまして、「一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた」という文言を追加して、特別支援教育を推進していくとしております。

③では、これも何度か御意見いただいておりますが、「アセスメント票」がおもての表かこの票かというところでございます。御質問があつて京都府にも確認いたしましたが、正確にはどちらでも良いということでした。ただ、京都府としては、内容をより明らかにしていくことを意識してこちらの票を使っています。それから、京都府が示して、局や私どもも活用して実際学校現場に出ているアセスメント票も、この字になっておりますので、今回は、京都府の方向性を踏まえて、従来の形にしたいと思っておりますが、またここは御意見いただけたらと思っております。

重点目標3につきましては、大きな修正点はございません。申し訳ありませんが、④の1行目で改行する箇所がずれております。原稿の方では、修正をさせていただきます。

続いて、重点目標4についても、修正点はありませんが、「地域連携・地域移行」について「地域展開」という文言もすでに活用されているのではないかという御指摘もありました。これも担当の方でも確認をさせていただきました。確かに文科省やスポーツ庁は、様々な会議で地域展開という言葉を使っているようです。ただ、京都府の方は、まだそれが固まったものではないということで、しっかりと協議をして、来年度中には地域展開という表現に進めていこうという、まだ途中経過とのことです。本市も来年度途中で地域展開とするかわかりませんが、スタートにあたっては「地域連携・地域移行に向けた休日部活動実証事業（ホリデークラブ）の拡充」とします。

重点目標の5につきましては、①の世界に向けてはばたく人材の育成を重点目標の2から、こちらに移行しております。青字で説明のために書いておりますが、実際の原稿では、青字の部分は削除します。

続いて、重点目標の6です。④の研修等における人材育成のところですが、1字脱字がありましたので、「教職員が生き生きとした姿を見せることができるような研修の場の設定」としております。

それから、⑤学びを支える教育環境の整備では、なりたい教師像を目指すとしようとしておりましたが、なりたい教師像がなかなかわからない部分もありますので、「教職員自身が学びを続け、その学びを教育実践につなげることができるよう学校現場を伴走・支援」しますという表現に整理をさせていただきました。

最後に裏面です。シームレス学園構想につきましては、従来から申し上げておりますように修正しておりません。

細かな点ですが、重点目標の丸の表題に四角がついております。

学校で期中チェックをしてもらうため、載せておりますが、実際には丸数字の下に入ります。今回の資料では、その場所に入ると全体が崩れてうまくできませんでしたので、印刷に出る場合は、丸数字の下にあると御理解いただけたらと思います。それから、行の端が少しずれていたり、行間が広がったりしますが、業者の方と調整しまして、前年度同様に見やすくしていきたいと思っております。それと、今回間に合っていないですが、掲載させていただく写真について、こども園3園、幼稚園3園、それから小中学校11校の17校園から写真を提供いただいております。ほとんどそろっているのですが、まだ保護者の方に、顔写真が出ることの了解が取れていないものが1、2個ありますので、もう少し連絡を待って、写真を入れる予定です。

説明は以上でございます。よろしく御審議いただきますようお願いいたします。

廣田教育長 御質問、御意見はありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 議第24号について承認ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 次に、議第25号「令和7年度社会教育の重点について」説明をお願いします。

(2) 議第25号(令和7年度社会教育の重点について)

岸見生涯学習課長兼中央公民館長 ～資料に基づき説明～

それでは、社会教育の重点を御覧ください。

前回も特段御意見いただいておりますが、極力、学校教育の重点の内容、表し方に合わせていきたいということで、表の教育のまち福知山のフォントを、同じくUDデジタル教科書体に改めるなど、学校教育と親和性を持たせることで進めていきたいと思っております。

あと前回と変わったところと言えば、写真を入れさせていただきましたので、この内容で完成を目指していきたいと思っております。

説明は以上でございます。よろしく御審議いただきますようお願いいたします。

廣田教育長 御質問、御意見はありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 議第25号について承認ということよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 次に、報告・説明事項1の教育長決裁による後援承認事項について説明をお願いします。

5 報告・説明事項

(1) 教育長決裁による後援承認事項について

谷垣教育総務課企画管理係長 ～資料に基づき報告～

- No.4 1 第24回大江山鬼っ子マラソン大会
- No.4 2 第38回酒呑童子盃争奪柔道大会
- No.4 3 池坊北部連合支部いけばな池坊展<花の輪 未来へ>
- No.4 4 第21回京都府北部タグラグビー交流会
- No.4 5 第54回京都新聞「お話を絵にする」コンクール作品展
- No.4 6 プレヴェールーコスマのシャンソン
～フランスのエスプリを歌とマイムで～
- No.4 7 福知山五色百人一首交流会
- No.4 8 健康ボウリング教室
- No.4 9 子育てセミナー
- No.5 0 令和6年度福知山市スポーツ少年団交流大会
スポーツフェスティバル(運動会)

廣田教育長 後援承認について御質問や御意見がありましたらお願いします。

織田委員 No.46のプレヴェールーコスマのシャンソンが初めての後援になります。申請書の内容を見る限りにおいては、確かにわからなくもないですが、料金徴収のところで、入場料がどちらかといえば儲け主義的な金額設定

になっているのではないかというのが少し気になるところです。今後もこういった申請については、入場料・参加料の上限と言いますか、その辺をもう少し明確にすることによって、ビジネス利用になっていないか、本当に一般の皆さんに参加をしていただける事業になっているのかという見極めを、どこかで線引きをする必要があるのではないかと思います。

岸見生涯学習課長兼中央公民館長

この申請につきましては、初めての後援ということで、村上商事の村上社長とも話をし、私も内容を確認させていただきました。あくまでも実行委員会形式で、広く市民の皆さんに、こういう文化に触れていただきたいというのが主な目的でございまして、入場料は取りますが、収支予算書を見せていただきまして、適正な金額であると今回は判断させていただきました。

御指摘いただいたことは、後援申請全体に言えることではありますが、昨年度も塩見委員さんからの御指摘で、承認・不承認の結果を3月の教育委員会では御覧いただけるように、資料も作成していきたいと思っておりますので、また御意見をいただければと思います。

廣田教育長

ほかに御質問や御意見ありませんでしょうか。

塩見委員

先ほどの織田委員さんの御意見に付け足しです。私も同じ意見でした。今の課長さんのお答えを聞いて納得もしましたし、わかりましたが、たんたんカード及びF1カードの所持者は割引という商業的な要素も入っているところが私も気にかかりました。

この決定についての経過は、今お話いただきましたので納得しましたが、こういったところも、気をつけていただけたらいいのではないかと思います。

岸見生涯学習課長兼中央公民館長

いただいた御意見を参考に審査の方も厳格に努めていきたいと思っております。教育委員会が後援するという事は、一定市民の皆さんにもお墨付きを与える事業であるということでもありますので、誤解のないように今後ともしっかりと審査をしていきたいと思っております。

廣田教育長

ほかに御質問や御意見ありませんでしょうか。

全委員

特になし。

廣田教育長

では次に、報告・説明事項2の大江町総合会館空調設備更新工事に伴う図書館大江分館の休館延長について説明をお願いします。

(2) 大江町総合会館空調設備更新工事に伴う図書館大江分館の休館延長について
山路図書館長

～資料に基づき説明～

それでは、大江町総合会館空調設備更新工事に伴う図書館大江分館の休館延長について説明をさせていただきます。

資料は、最後の44ページでございます。

空調工事による大江分館の休館につきましては、先月の12月定例会で、

分館のある2階の工事を1月に行っていたが、2月2日まで休館し、工事が完了でき次第、2月早々には空調ははいりませんが、2階で開館したいと説明をしておりましたが、工事の影響により、休館期間の延長が生じたので、本日説明をさせていただきます。

まず、延長の理由について、4番を御覧ください。当初、2階部分を先に工事完了し開館を計画していたが、現場確認を行ったところ、配管改修及び天井解体の量が多いことが判明した。安全面も考慮したうえで作業工程を精査したところ、1階と2階同時進行で工事を進める必要が生じたためです。

具体的な変更点については、3番を御覧ください。休館期間を令和7年3月21日（金）までとします。工期の最終日と同じにしました。

休館期間中は次の通り、臨時貸出をします。現在1月は、火曜日、水曜日、金曜日の午前10時から午後1時に、臨時貸出を行っていますが、延長となりましたので、2月から3月14日までは1日増やしまして、火・水・木・金曜日の週4日間貸出を行うことにしました。場所は同じく大江支所1階のいこいの広場です。

続いて5番の蔵書点検について御説明します。蔵書点検につきましては、11月の定例会で日程を説明したところですが、休館期間が延長になりましたので、大江分館につきましては、今年度実施いたしません。

6番、その他に記載しておりますように、分館の休館期間延長につきましては、広報カード、大江地域の自治会組回覧文書、防災行政無線などで周知をします。自治会長さんには、今週すでに郵送で組回覧のお願いを発送しております。広報カードにつきましては本日午前中に提出いたしました。行政防災無線での周知は来週予定をしております。また、資料には記載がありませんが、12月議会で大江分館の休館について一般質問を受け、答弁をしておりましたので、今回の休館期間延長につきましては、全議員に向けて報告をしました。

工事の進捗状況により変更がある場合は、また再度広報などで周知をしまして、丁寧に対応していきたいと考えております。

廣田教育長 何か御質問ございませんでしょうか。

全委員 特になし。

6 閉会

廣田教育長が閉会を宣言。